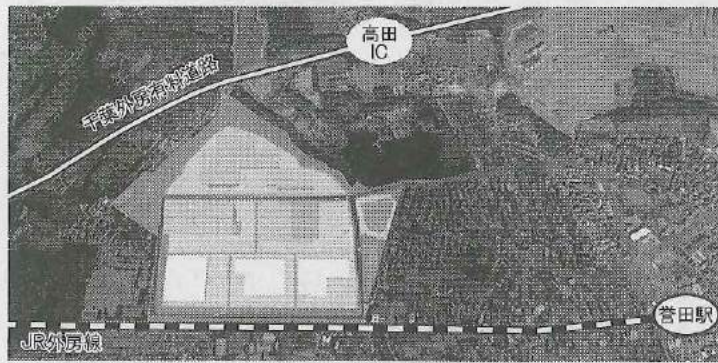


駅・IC近くに産業用地

設計Ⅱ八千代エンジニヤリング
施工Ⅱ大林道路

完成イメージ



エム・ケー ネットコア千葉菅田が起工

エム・ケー（東京都日野市）が千葉市に計画しているネットコア千葉菅田の建設地で28日、起工式が開かれた。千葉市との官民連携により明治大菅田農場跡地約26haを産業用地に開



小林代表取締役



太田原常勤理事



熊谷市長

発する。開発行為の設計は八千代エンジニヤリングが担当し、大林道路が施工する。3月には企業立地の1次申し込みを締め切る。2019年12月の造成工事完了を目指す。

神事では鎌（かま）入れを岡田総規八千代エンジニヤリング取締役総合事業本部副本部長、鎌（くわ）入れを熊谷俊人千葉市長と小林勤エム・ケー代表取締役、鋤（すき）入れを濱田道博大林道路代表取締役専務執行役員が行った。

終了後、熊谷市長は「この地域の活性化や雇用の創出により、さまざまな福祉の向上が図られるものと期待している」とあいさつした。

エム・ケーに土地を売却した明治大学の太田原健司常勤理事は「この農場跡地が生産拠点の産業用地として開発されることは地域のこれからの支えとなる

ことに間違いない。最も有効な活用だ」とたたえた。

小林代表取締役は近隣住民への感謝を述べつつ「国内の優良企業を誘致し、地域活性化に伴って心豊かなコミュニティ社会が誕生するような地域を形づくる努力を重ねていきたい」と語った。

開発区域は、JR外房線菅田駅や千葉外房有料道路高田ICに近い千葉市緑区菅田町2-22ほかの26万0768平方メートル。建ぺい率は60%、容積率は200%。分譲面積17万8783平方メートル。製造業を中心に誘致する。総事業費は約51億2900万円。進入道路や下水道などを整備後、市に帰属するインフラに対し、市は10億円を上限に建設負担金を支援する。



で竣工したい

越川守所長（大林道路）の話

「近隣に住宅や学校などがあるため、大規模な工事の中で住民や第三者に配慮し、無事故・無災害